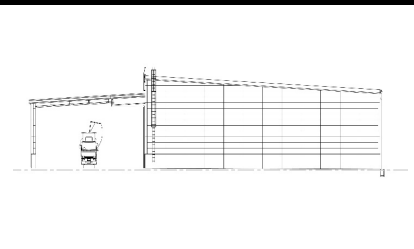


CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日発運送株式会社下江留新倉庫新	階数	地上2F
建設地	静岡県焼津市下江留957、956、955	構造	S造
用途地域	市街化調整区域・防火地域指定なし	平均居住人員	40人
地域区分	7地域	年間使用時間	1,960時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年7月 予定	評価の実施日	2021年6月18日
敷地面積	7,768 m ²	作成者	増田 吉則
建築面積	4,575 m ²	確認日	
延床面積	4,575 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 46 (kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: #DIV/0!

③ 上記+②以外の: #DIV/0!

④ 上記+: #DIV/0!

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項

<p>総合</p> <p>これはCASBEE静岡2016年版による評価結果である。</p> <p>建築物の環境品質については、ゆとりが有り維持管理のしやすい空間とすることで環境品質が向上するよう努めている。</p> <p>建築物の環境負荷について、省エネ計算対象外ではあるが、高性能な外皮を採用して環境負荷の低減に取り組んで</p>		<p>その他</p> <p>特になし</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>評価対象外</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>空間にゆとりを持たせることによって、機能的で使いやすい空間とするとともに将来の変化にも対応できるように配慮している。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>外部仕上等の色彩において、周辺の街並みや風景にバランスよく調和させている。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>省エネ評価対象外</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>有害物質を含まない材料の使用に努めるなどして環境への悪影響の低減を図っている。</p> <p>また、外壁の仕上材にALCを採用し躯体と容易に分別できるように配慮した。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>大気汚染防止に努めて、環境負荷の低減に取り組んでいる。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される